

R5年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 ( IPPO うめな園 ) 作成日時 ( 年 月 日 )

代表	施設長	本部
印		

R5年度 改善への取り組み	・保護者の方々の参観としての機会をより良い方向に努めていなかで、保護者に理解していただけるように丁寧に取り組んでいく
今年度の施設目標	・保護者同士の連携を深めるための保護者会を充実させ親子での交流につなげられるようにしていく ・職員の支援力を高めていく

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	・活動のスペースは確保されている ・職員の配置数、専門性は適切である ・スロープ・手すりが整っていない	・子どもの活動のスペースが確保されていない
業務改善	・月/1にて研修の時間を確保し職員の療育の資質を向上に努めている ・PDCAサイクルに職員は広く参画している	・保護者の意見も踏まえ目標達成の業務改善に努めている
適切な支援の提供	・個の発達・特性を理解したうえで適時のアセスメント実施とモニタリングにより個の課題を客観的に分析したうえで日々行っている ・集団活動、個別活動の課題設定は常に職員との連携によって日々行っている	・子どもの生活空間が清潔で心地よく過ごせる環境になっていない
関係機関や保護者との連携	・コロナの感染が不安定であり予定していた機関との連携が中止になってしまうことが重なっていた ・外部機関との交流等も予定していたが延期になってしまっていた	・保護者同士の連携がとれていない
保護者への説明責任等	・保護者からの相談には対応している ・面談の中で子どものあられ発達状況等を説明し個の課題についても理解してもらえよう対応している ・HAG、ラインワークスにて連絡を取り合っている	・家族支援プログラムが行われていない ・運営規定、利用者負担額について説明されていない ・幼保等の交流がない ・保護者同士の連携がされていない
非常時等の対応	・個人情報十分配慮している ・非常時の冊子は保護者に配布している ・発生を想定した訓練は年5回おこなっている また、個別で防災頭巾のかぶり方を行っている ・子供の感染状況もしくは、他の園の感染症増加について保護者に周知している ・定期的にIPPO便り・よりみち・ホームページ・等を発信している	・定期的な会報やホームページ等で、活動概要行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信されていない



分析検討してみたの事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の障がい特性によって1階2階とで振り分けをし、構造化・生活シナリオで個別のスケジュールでのシステムを活用している</li> <li>・感覚・ボディイメージの形成・手指の機能の分化を形成・また身体を大きく使う粗大運動手先の微細運動等の感覚統合の活動を集団活動に取りいれている</li> <li>・集団活動は人数を課題によって調整している</li> <li>・広い施設を利用できないので、生活シナリオで調整しながら場所を確保できるようにしている</li> <li>・個のモニタリングをし支援者とのミーティングにて支援統一をしている</li> <li>・個別での課題を職員で見直ししながらステップアップに努めている</li> <li>・専門家によるコンサルテーションやリモート研修には参加、また外部への研修参加を積極的にを行い療育支援者としてのスキルの向上に務めている</li> <li>・就学に向けての準備を個別、もしくは集団で活動として行っている</li> <li>・就学に向けての疑問点などを解消するためにも年度初めに学校教育課の方を招き懇談会として行っている、</li> <li>・保護者の疑問・不安等に関しての相談にはその都度行っている</li> </ul>

分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムを子供が理解し動いているが、動画での様子は見ていても実際に子どもの動きはなかなかみることができていない点</li> <li>・個のスケジュールは生活シナリオを作成しているが、生活シナリオの意味を知らせていない点</li> <li>・構造化の必要性を保護者に向けて理解してもらっていない</li> <li>・幼保・他事業所等との交流機会がとれていない</li> <li>・室内ではなく、外回りの環境が整っていない（スロープ等）</li> <li>・懇談会等の開催が少なく、保護者間の連携がとれていない</li> <li>・家族支援プログラムとして保護者には行っていない</li> <li>・朝の送迎時の対応が不安な点について</li> </ul>

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育とは？構造化はなぜ必要なのか、生活シナリオは一体なんなのか、スケジュールカードって？の意味を保護者に向けて説明する機会を設けていく</li> <li>・幼保等との交流機会を改めて具体的に検討していく（現在、一度中止になってしまった幼稚園とは日時を決めている途中である）</li> <li>・外回りの環境整備を整えていく（4月に見積書を出してもらっているが、なかなか工事が進まない状況である）</li> <li>・感染症の状況によって懇談会が中止になることがあり保護者にはご迷惑をかけてしまっている、優先的に年長児の保護者を対象に学校教育課から就学についての話の依頼をしている（1月にて）その後はIPPO施設内で年長児の保護者対象の懇談会を進めている。</li> <li>・保護者同士の連携には成り立っていなかった様子が見られるので、今後は保護者同士でのフリートークの時間を設定していくために保護者のニーズを伺いながら検討していく</li> <li>・車内置き去り防止安全装置の取り付けをしてある</li> </ul>

自己評価を行っての事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談時での動画でのやりとりではなく、保護者の求めているものは参観日等にて子どもの様子を自分の目で確認したい気持ちが強い事がよくわかった</li> <li>・参観日として設定はしないが、見学として1日1名限定で今後行っていきたいと考えている</li> <li>・懇談会の中で、保護者同士の連携をつなげていくには1年に数回の設定では今後困難であるなど感じている</li> <li>・保護者同士の連携をどのような形で進めていくかを早急に検討する必要性を感じた</li> <li>・親子で行える運動活動・ふれあい遊び等も今後楽しくできる場を設定していきたいと考える</li> <li>・年内のイベントはIPPOで行うので今までと同じ方法ではなく親子でみんなでふれあえる活動を取り入れながら検討していきたいと思った</li> </ul>

来年度の施設目標	・IPPOの療育活動に理解を深めていただける場を設けていく（見学会等） ・各関係機関との交流の充実 ・保護者同士の連携がとりやすいイベント、保護者会の開催
----------	--